



今年度の協議会のねらい

板垣, 貴志

(Citation)

歴史文化をめぐる地域連携協議会予稿集, 10:5-5

(Issue Date)

2012-01-29

(Resource Type)

conference object

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81003756>



2012. 1. 29

今年度の協議会のねらい

板垣貴志（神戸大学大学院人文学研究科特命助教）

1. 東日本大震災をうけて

専門家による被災歴史資料の救出活動
写真や位牌、記念品などを被災者に返却する活動
震災モニュメント
現在生成されつつある資料を収集・保存する動き

2. これまでの議論の反省点

狭い議論 / 発信の不足

3. 阪神・淡路大震災 / 17年の経験

風化にともなう温度差 / 歴史としての大震災

4. 長期的発信力を持つ災害資料の役割

被災地・被災者にとっての災害資料

5. 資料をとりまく諸活動の発信意義

大学 / 展示施設 / 図書館 / 博物館 / 市民団体